TECHNICAL DATA

建材用カビ止め下地処理剤（防カビ・防藻成分配合）

ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2

近年、建築物の密閉化に伴って内部壁面等のカビの発生が問題になっています。また、屋外でも日本は湿気が多く、カビや藻の発生は建物管理の大きな負荷となっています。

このため、カビの発生した箇所の再塗装による化粧直しや壁紙の張替えが増加しておりますが、一旦カビが発生した部位は、薬剤を用いた除菌などの処理を行わない場合、短期間のうちにカビの再発が起きるケースが多く見られます。

これを防ぐため、再塗装や壁紙・建材などを施工する前に下地処理を行うと効果的です。

ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 は、塗布するだけでカビ・藻の、発生・再発を抑制する下地処理剤です。（色素の除去はできません。）

１．成分・性状

有 効 成 分　：　有機窒素硫黄系化合物

性　　状　：　無色の液体

２．特　長

（１）カビの生えた面に原液を塗布するだけで根（菌糸）から除去し予防効果も発揮します。

（２）処理後水洗いの必要がなく、乾燥も速いので作業時間短縮と環境負荷を軽減します。

（３）乾燥後は上塗り塗料を選ばず塗装ができ、壁紙や建材を施工することができます。

（４）建築物内外部でアルコールの影響を受けない建材や塗装面であれば使用ができます。

３．除 菌 効 果

試験１：性能試験（カビ抑制効果）

直径３ｃｍアルミ板に水性塗料を塗布し５種混合菌懸濁液を接種した。

２８℃で１０日間培養後、含水脱脂綿で試験片に生育したカビを拭きとった。乾燥後の試験片両面に０．１ｍｌ供試薬剤を塗布、室温で２４時間乾燥後、試験片をサブロー寒天平板培地表面に貼付して２８℃で２週間培養し、１週間目と２週間目にカビの繁殖程度を観察した。

結果は、表－１に示すようにヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 は、優れたカビ抑制効果が認められた。

大阪ガスケミカル株式会社

本社 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南２番37号 ドームシティガスビル　TEL 0120-124-123　FAX 06-4393-0054

【試験菌】

・*Aspergillus niger.*　・*Penicillium citrinum*　・*Cladosporium cladosporioides*

・*Alternaria* sp.、*Fusarium* sp.

表－１

供 試 薬 剤	濃 度	１週間後	２週間後
ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2	原 液	－	－
ブランク	－	+++	+++

－　　：試料面に菌糸の生育が認められない。

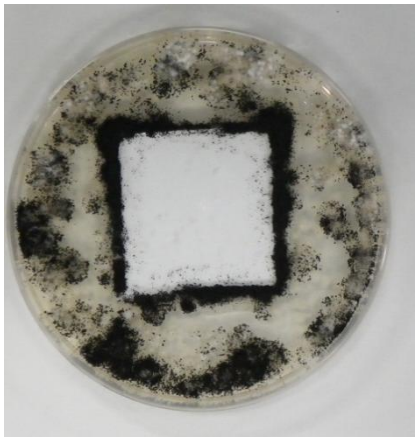
±　　：試料面に僅かに菌糸の生育が認められる。

＋　　：試料面の 1/3 以下に菌糸の生育が認められる。

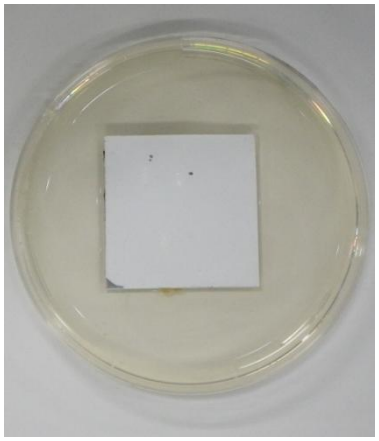
＋＋　：試料面の 1/3～2/3 に菌糸の生育が認められる。

＋＋＋：試料面の 2/3 以上に菌糸の生育が認められる。

写真－１



ブランク



ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2

試験２：建材(石膏ボード)における性能試験

焼きセッコウを用いて石膏サンプル（表面紙・防カビ剤無し）を作成、混合胞子懸濁液０．５ｍｌを石膏サンプル裏面の中央付近に塗布した。塗布後、サンプルをサブロー寒天培地に胞子懸濁液塗布面を接地面として静置、接地面ではないサンプル表面に０．５ｍｌ供試薬剤を塗布、２５℃で培養し、１週間ごとにカビの繁殖程度を観察した。

４週間後の結果は表－２に示すように、ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布なしサンプル（ブランク）は石膏全体にカビの増殖が見られた。一方、石膏表面にヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 を塗布したサンプルは石膏へのカビの増殖は見られなかった。以上の結果より、ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 を石膏ボード表面に処理することで、石膏ボード裏面から繁殖するカビの抑制効果が認められた。

大阪ガスケミカル株式会社

本社 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南２番37号 ドームシティガスビル　TEL 0120-124-123　FAX 06-4393-0054

【試験菌】

・*Aspergillus niger*　・*Penicillium pinophilum*　・*Cladosporium sphaerospermum*

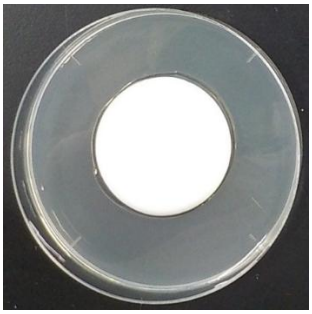
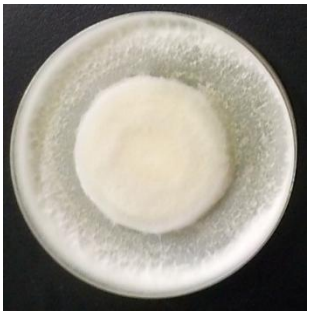
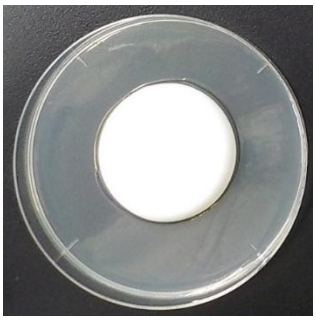
・*Aureobasidium pullulans*　・*Trichoderma virens*

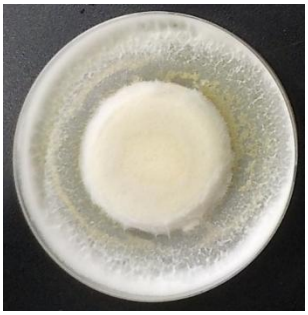
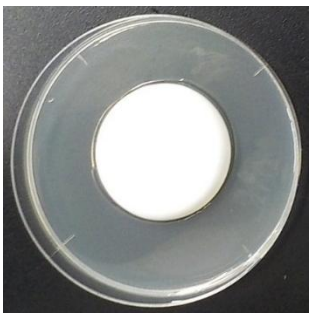
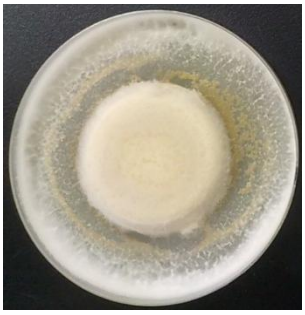
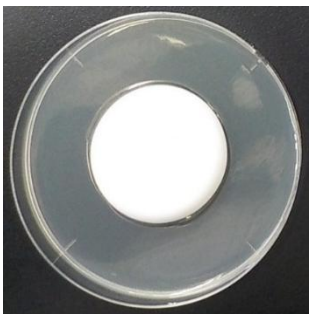
表－２

供試薬剤	４週間後							
	n =1	n =2	n =3	n =4	n =5	n =6	n =7	n =8
ブランク	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2	－	－	－	－	－	－	－	－

評価は表－１参照

写真－２

１週間後		２週間後	
ブランク（未塗布）	ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布	ブランク（未塗布）	ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布
			

３週間後		４週間後	
ブランク（未塗布）	ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布	ブランク（未塗布）	ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布
			

大阪ガスケミカル株式会社

本社 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南２番37号 ドームシティガスビル　TEL 0120-124-123　FAX 06-4393-0054

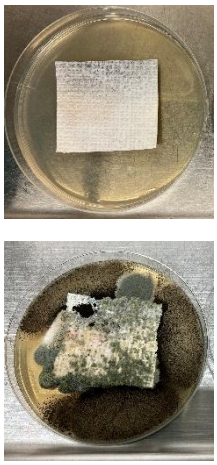
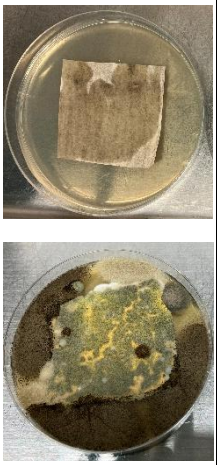
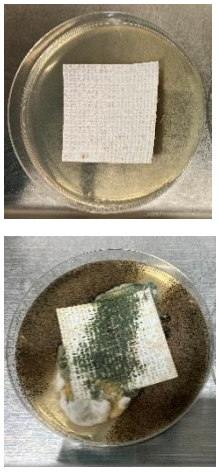
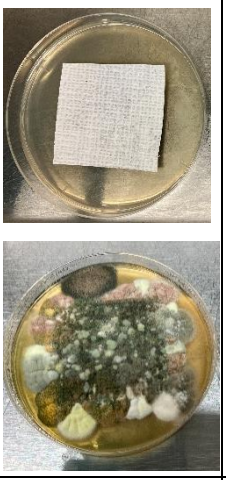
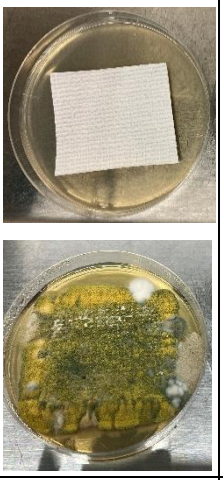
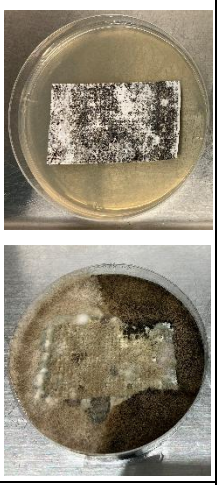
試験３：長期間生育しているカビへの有効性試験

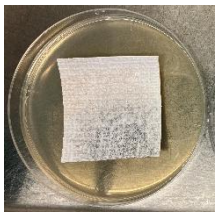
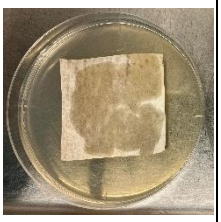
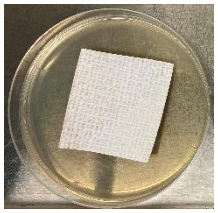
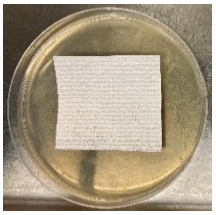
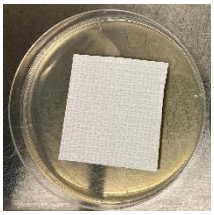
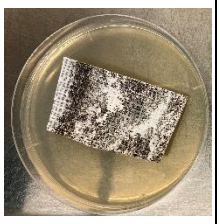
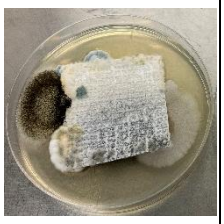
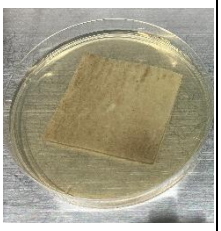
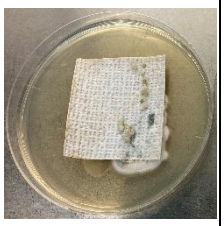
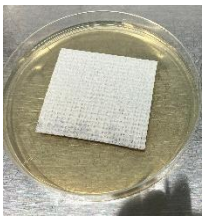
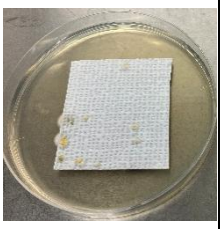
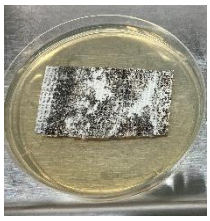
沖縄県の集合住宅（新築５年：１、２年目からカビが多発）の壁紙クロス（写真－３）を採取した。採取した壁紙クロスを約４ｃｍ角に裁断し、滅菌水を含ませた脱脂綿でカビを拭き取り試験片とした。試験片両面に０．２ｍｌ供試薬剤を塗布、室温で２４時間乾燥後、試験片をサブロー寒天平板培地表面に貼付して２６℃±２℃・湿度９５～９９％で２週間培養し、繁殖程度を観察した。

結果は写真－４のとおり、ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 による、長期間生育しているカビへの抑制効果を確認した。一方でクロス端部からの少量のカビの発生が見られた検体もあった。ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 が端部にいたるまで届いていないことが要因であると推測される。すでに、発育しているカビは強力なため塗り残しが無いように塗布する事が重要である。

写真－３

写真－４（写真の上が初期、下が２週間後）

ブランク（無塗布）					
1	2	3	4	5	6
					
＋＋＋	＋＋＋	＋＋	＋＋＋	＋＋＋	＋＋＋

ヴィタバイオ カビ止め剤 X-2 塗布					
1	2	3	4	5	6
					
					
＋	－	＋＋	－	＋	－

評価は表－１参照

４．使用方法 および 標準使用量

(1)カビの生えた面に、原液のまま塗布。

(2)標準使用量；５０ｍｌ～１００ｍｌ／m^2

５．包 装 形 態

１４Ｌ　ポリ缶

３．５Ｌ　ポリ缶

注意：このテクニカルデータシートに記載の内容は、長年の使用実績および弊社研究所での試験に基づき、あくまで参考情報として提供するものであり、各業界や、同一業界内においても使用条件が異なる場合があるため、記載内容の保証はいたしかねます。薬剤の使用適否につきましては、事前に弊社または特約店の担当者と十分ご相談いただき、貴社にて試験・検討のうえ、実使用をお願いいたします。また、本処方および使用用途、使用方法はいかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

(2025.12.11)

大阪ガスケミカル株式会社

本社 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南２番37号 ドームシティガスビル　TEL 0120-124-123　FAX 06-4393-0054